

川上ダム通信

2015
7
月号



Vol. 118
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

川上ダム早期完成へ強い要望 岡本伊賀市長らが支社へ来訪

6月12日(金)に伊賀市の岡本栄市長、中岡久徳市議会議長外2名が水資源機構 関西・吉野川支社へ来訪され、神矢支社長、加納川上ダム建設所長にダム早期完成の強い要望をいただきました。お話の中で、「水があって初めていろいろな企業が伊賀市に進出することができる。」「工場が立地し、継続して働く場所があればこそ、伊賀市の発展がある。そのためにも川上ダムは不可欠である。」「早く本体工事に取りかかってほしい。」といった切実な声をお聞きました。

当機構としましては、伊賀市民の皆様のご要望に応えることができるように、引き続き伊賀市をはじめとする関係機関との連携を密にして、一日も早い川上ダムの完成を目指して事業を進めてまいります。



左から小西公共基盤推進課長、加納所長、神矢支社長、岡本市長、中岡議長、北山建設部長

【所長 加納茂紀】

事業進捗に向け三重県との連携強化

5月22日（金）、三重県の地域連携部、県土整備部、伊賀建設事務所の方々が川上ダム建設事業の視察のため来所されました。

三重県による視察は毎年実施していますが、今回は、昨年8月の国土交通省による川上ダム建設事業の継続とする対応方針決定、今年3月の事業実施計画（第3回変更）の認可後、初めての視察となりました。

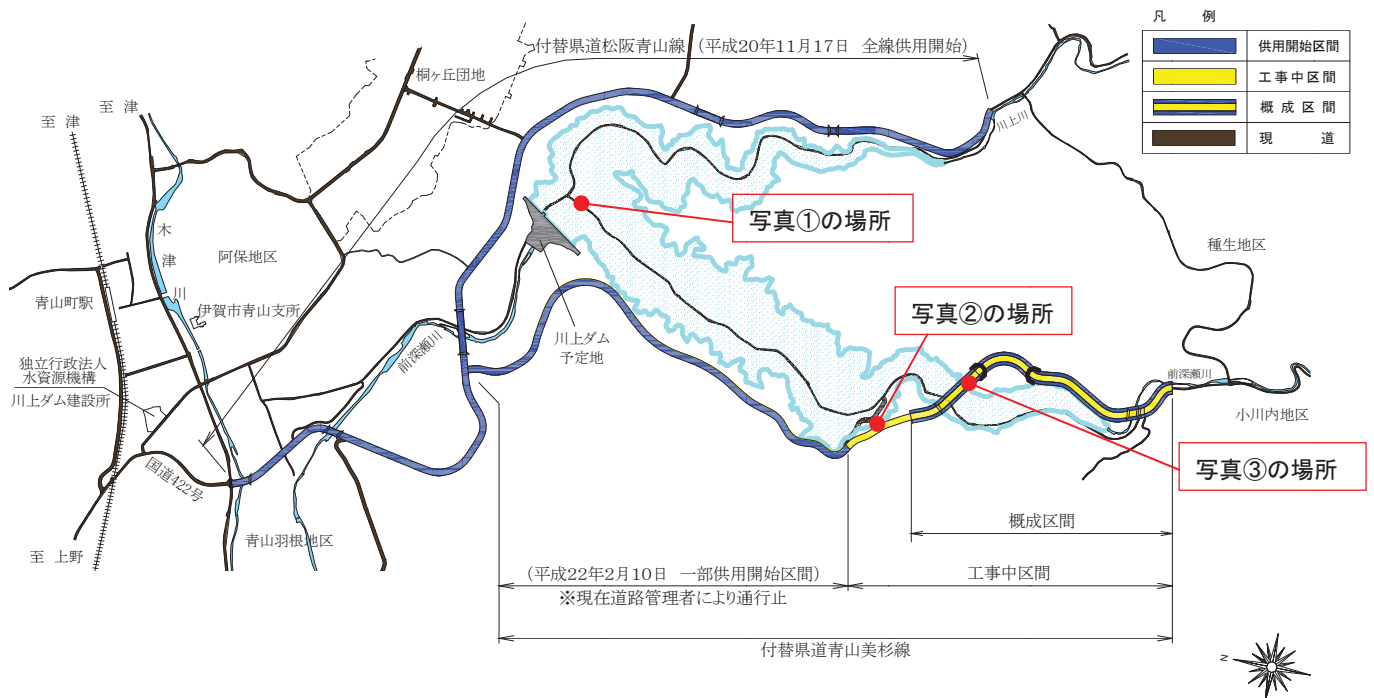
はじめに、現地進捗状況の説明のほか今後のダム建設のながれについても説明し、事業の進め方や自然環境保全対策などについて活発な意見交換を行いました。

その後、三重県と当機構が共同して進めている付替県道青山美杉線の工事を中心に現地の進捗状況を確認していただきました。

三重県とは、付替県道青山美杉線並びにダム本体の早期完成に向け、引き続き工事状況等の情報共有を行うとともに、連携を図っていきます。



事業説明会の様子



<現場視察時の状況>



写真① 川上ダム予定地付近



写真② 付替県道の工事進捗状況



写真③ 付替県道の概成区間

豊かな川の恵みのために

～前深瀬川美化清掃活動～

梅雨入り直後の6月10日(水)、前日までのぐずついた天気を垣間見ての青空の下、前深瀬川の清掃活動を職員で実施しました。

今回の清掃区間は、木津川との合流点付近から、前深瀬川を上流に向かって(新羽根橋～新田中橋～大井手橋)、約2時間という限られた時間の中で、汗びっしょりになりながら作業を行いました。

作業前は、草の緑で覆われゴミ等はほとんどないかと思われましたが、いざ作業に入ると、その緑の中からペットボトル、空き缶、食品トレイ等が、歩き進める度に



美化清掃活動の状況(鮎釣りの好ポイント!?)



美化清掃活動の成果と参加者

見つかるという状況下で、シマヘビとのご対面も体験しながら、タイヤや鉄くず等の大物も発見しました。終わってみると、軽トラックいっぱいのゴミが集まりました。

今回の清掃場所付近の前深瀬川は、屈指の鮎の釣り場としても知られています。前深瀬川を含む伊賀川漁協の管内では、既に6月14日(日)より鮎釣りが解禁されています。皆様もきれいになった釣り場での鮎釣りを、楽しんでみてはいかがでしょうか。

【第一用地課 渡辺協】

～前深瀬川の鮎釣り(爆釣!)～

鮎釣りの解禁日の6月14日(日)、前深瀬川に鮎釣りに行きました。場所は上の記事でも紹介されている、ゴミがなくなりきれいになった新田中橋の上流側です。当日は解禁日ということもあり、気合いを入れてまだ薄暗闇の時に現地に着いたのですが、既に先客が居る状況でした。

釣りができるくらいの明るさになり、一発目におとりを川に送り出してから1分後、早速仕掛けの目印がビュンと動いて、順調なスタートか!?!と思いきや、手網で受け損ねてバラしてしまい、自分の腕の悪さにがっかりしました……。ところが、周りが完全に明るくなった頃に少し場所を移動すると、そこから連続ヒット!夕方まで釣れ続け、全部で40尾の鮎を釣ることができました。夜には釣りたての鮎を焼いて、家族全員でおいしくいただくことができ、充実した休日を過ごすことができました。



大漁の成果!

【環境課 廣瀬真由】

これ、なあに？



まずは、右の写真を見てね。これは、青山方面から国道165号を奈良方面に向かう途中、名張川にある新夏見橋（名張市夏見）から見た写真だよ。赤線で囲まれた建物と柱は、ダムの水が流れる川沿いにいくつかあって、とても大切なはたらきをしているんだ。そのはたらきが何かわかるかな？少しむずかしいけど、ヒントを出すから、お友達や家族みんなで考えてみてね。



新夏見橋から見えるから探してね。

ヒント① ダムのためた水が、みんなの飲み水や田んぼの水など、いろいろなところで使われていることは知っているよね。そうそう、みんなが楽しみにしているプールの水にも使われているんだ。

でも、じつはそれだけじゃないんだよ。ダムは、台風や大雨がふったとき、たくさん水をためながら少しずつ水を流して、川の水が一度にたくさん増えないようにするはたらきがあるんだ。

この建物と柱は、ダムから水を流すときに大活躍するよ。

ヒント② 右の小さな写真を見てね。よく見ると、柱の上に2つ赤いラッパのようなものがついていて、その間にも何か赤いものがついているよ。何か大きな音でも出るのかな？



ラッパ？

ヒント③ 左の写真を見てね。この建物と柱のすぐそばで大きな看板を見つけたよ。赤い字で「川の増水に注意」って書いてあるけど何だろう？



この看板は大ヒントかも？

このクイズの答えは来月号で紹介するから、それまで楽しみにしていてね。

【総務課 山下朋穂】

イベントのお知らせ

第31回 青山夏まつり

開催日：7月19日（日）15時00分～
開催場所：青山公民館周辺
お問い合わせ：青山夏まつり実行委員会
TEL：0595-52-2000

逆柳の颯穴まつり

開催日：7月26日（日）10時30分～
開催場所：伊賀市高尾 逆柳の颯穴
お問い合わせ：千方伝承会 広報担当 年岡氏
TEL：080-2613-1880

編集後記

もうじき各地で甲子園を目指す球児たちの熱い夏が聴こえてきます。幼い頃から高校野球を見ていたせいか、20代前半の頃は、年下の球児を見ても、なんだか自分より年上のお兄さんがプレーをしているような錯覚を覚えたものです。（心配なさらなくてください。今では、さすがに錯覚しませんので。）

高校野球の観戦に限らず、日中を外で過ごされる方は、こまめな水分補給と適度な塩分補給で熱中症を防ぎましょう。そうそう、アルコールは水分補給にはなりませんよ。

【広報誌発行事務局】

編集長	加納（所長）	
デスク	梅村（総務課長）	小谷口（工務課長兼工事課長）
記者	山下（総務課）	本山（第一用地課）
	古川（第二用地課）	藤本（調査設計課）
	廣瀬（環境課）	日隈（工務課）